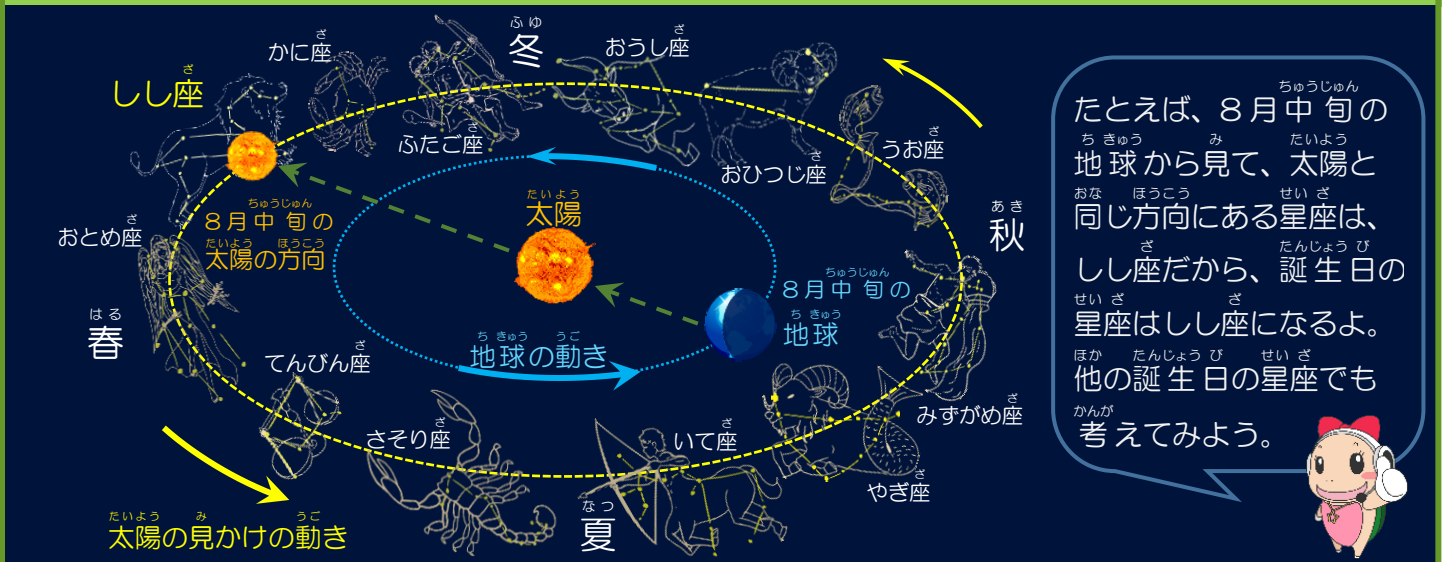




## 誕生日の12星座

誕生日の12星座は、どうやって決まったのかな？

### 夜空で自分の誕生日の星座を探すには



星の名前を知らなくても「誕生日の星座は？」と聞いたら「〇〇座」と答える人が多いですよね。地球は太陽の周りを回っているのだから、地球から見た太陽は、星座の中を動いていくように見えます。このとき、太陽が通るところにある星座を誕生日の12星座として使うようになりました。誕生日には、地球から見て太陽の向こう側に誕生日の星座があるため、太陽に照らされた昼間の空でその星座を見ることはできません。誕生日の3~4ヶ月前の夜空で探すのがおすすめです。

### 12星座のギリシャ神話から

星座にはそれぞれ神話があります。

5月に見ごろを迎えるおとめ座の話です。ギリシャ神話でこの星座は農業の女神デメテルとも言われています。ある日、一人娘が地底の国に連れ去られてしまったため、デメテルは深く悲しみ、地上では草木が枯れはててしまいました。大神ゼウスのおかげで娘は戻ってきましたが、地底の国の食べ物を食べた娘は、1年のうち4ヶ月間も地底の国に暮らさなければなりません。娘と離れる時期は女神の悲しみから季節が冬になるそうです。

### 星座のはじまり

現在の星座は、日本から見えないものを含めて全部で88個あります。古い星座は、約5000年前、チグリス川とユーフラテス川の間(現在のイラク)で暮らしたメソポタミアの人々がつくったと考えられています。

昔の人々は夜空で星と星を線でつなぎ、動物や伝説の巨人などたくさんの星座をつくりました。